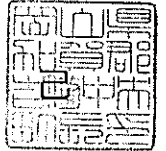




吉賀建第 142号  
平成19年5月1日

国土交通省道路局長 殿

岡山県加賀郡吉備中央町長 重 森 計



### 中期的な計画の策定にあたっての意見

本町は、岡山県の中央に位置し、総面積 268.73Km<sup>2</sup>(県全体の約 3.8 %)は県内で中規模となっています。

地勢では、岡山県と広島県に広がる吉備高原の東部、標高 120 ~ 500m の高原地帯に位置し、人口 14,000 人の中山間地域です。

民家は、町内全域に点在し、網の目に広がる道路は整備も遅れ、幹線道路にしてもカーブが連続し見通しも悪く危険な状況であります。

公共交通機関の少ない我が町にとって、道路延長が県下で一番有する町としては車に対する依存度は他の市町村と比べても一段と高いものがあります。

少子化・高齢化が急速に進んでいる本町としては、道路が整備されることにより人口流出の歯止めとし、企業誘致等の施策が生きてくるのではないのでしょうか。

このようなことから、道路特定財源の一般化については反対するものであり、地方を切り捨てることのないよう、幹線道路の整備を早期完了に向けご努力いただきたい。

また、地方交付税の減額等により、道路維持に伴う経費に多大の費用を要していることから、現状は地方財政を急激に圧迫している状況となっています。

現在の交付税の算定方法では、中山間において生活している我が町としては生活が成り立ちません。普通交付税の算定方法の見直しをいただくと共に、特別交付税の増額を強く要望するものです。